

財団通信

発行所
〒832-0814
福岡県柳川市三橋町通見 18-2
公益財団法人 生涯学習振興財団
TEL 0944-72-5452
FAX 0944-72-1803
発行人 理事長：沖永佳史
編集人 事務局長：井上正明

主催者あいさつ

志のある行動が未来を変える



公益財団法人 生涯学習振興財団
理事長 沖永佳史

当財団が主催する「高校生小論文コンクール」は1999年に始まり、今年で27回目を迎えました。初回より一貫して掲げる「今こそ大志を語れ」というテーマは、初代理事長であり、帝京大学前学主・沖永莊一博士が提唱したものです。「日本の将来を担う高校生たちが、心に描いている夢や将来像を大志という形で文字に綴ってもらいたい」という思いが込められています。

「志」には心を立てるという意味があり、単なる夢や目標ではなく強い意志や思いを宿す言葉です。皆さんの作品は、まさに大きな志に満ちあふれ

ていました。自らの体験を通して思いを深め、疑問や葛藤とも真摯に向き合っていく姿勢や、社会の課題を主体的に捉えて解決していく決意が伝わってきました。特に今年の特徴として、思いを描くだけでなく、現状を変えるために使命感を持って立ち上がり、目標に向かってチャレンジしてきた体験を綴った作品が多く見られ、未来に希望を感じました。

今回の応募者数は個人部門が約9000名、グループ部門は65点の作品が集まりました。全国各地から多くの方にご参加いただき誠にありがとうございました。最後になりましたが、小論文を応募してくださった高校生の皆さん、指導された先生方、一次から最終審査までご協力いただいた先生、審査委員の皆様へ深く感謝し、心より御礼申し上げます。

個人部門

第27回高校生小論文コンクール

「今こそ大志を語れ」をテーマにした高校生小論文コンクールでは、個人部門とグループ部門で、自分の未来や人生の夢、目標という身近なことから、福祉、教育問題、環境問題などの社会的な提言に至るまで、ジャンルを問わず、文章で綴る作品を募集しました。結果は左記の通りです。

沖永莊一博士記念大賞（最優秀賞）

タンザニアで見た命の現実と、

私が目指す国際医療の道

学校法人大妻学院 大妻多摩中学高等学校「2年」菅原 彩花 さん

優秀賞

偉大なる父の背中

福岡県立福岡工業高等学校

「2年」高橋 エマ さん

読売新聞社賞

声を待つてくれる社会へ

学校法人信愛学園 浜松学芸高等学校

「2年」齋藤 彩雪 さん

最優秀賞

苗半作と種苗法が切り開く食の未来

兵庫県立農業高等学校

「3年」河野 詩晴さん・松本 瑛恋さん・古家 花菜さん
「2年」大西 聖菜さん・川上 隼人さん

優秀賞

櫛から繋げる環境再生

福岡県立久留米筑水高等学校

「3年」手島 翼さん・池田 伊吹さん・井手 和樹さん・久家 柚柰さん
権藤 瑠衣斗さん・立石 悠人さん・中野 翔一朗さん

読売新聞社賞

空洞化するまちなかを空き家の有効利用で再生させるプラン

学校法人小林学園 本庄東高等学校

「2年」小林 茉奈さん
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校

「3年」小林 香穂さん

優秀学校賞

大変な熱意を持って継続的に参加された学校

◎【福岡県】福岡県立八女工業高等学校

◎【東京都】学校法人 東亜学園高等学校

◎【静岡県】学校法人 信愛学園 浜松学芸高等学校

全国246校の高校からの応募と、九千人近い応募が

この小論文コンクールは、基本テーマを「今こそ大志を語れ」として、沖永莊一理事長の提唱である、「一人でも多くの現役高校生に、それぞれの夢を語っていただく」という趣旨ではじめられ、この度27回を迎えた。

コンクールは、個人部門とグループ部門に分けられ、自分の未来や人生の夢、目標という身近なことから、福祉、教育問題、環境問題等の社会的提言に至るまでジャンルを問わず、文章で綴る作品を募集している。

募集は10月末日に締め切られ、全国から九千人近い応募をいただいた。審査の結果は上記のとおりです。

審査は、11月に予備選審査を経た後、最終審査は12月6日に柳川市の白柳荘で行われ、中沢紀子帝京大学文学部教授を委員長に、海老井悦子福岡県前副知事、森山良一福岡県教育委員会元教育長、藤光央福岡県教育庁教育振興部高校教育課指導主事、池田和正読売新聞西部本社文化部長の各委員の活発な討議のもとで行われ、各賞受賞者が選ばれた。

個人部門

第27回高校生小論コンクール受賞者

沖永莊一博士記念大賞(最優秀賞)

タンザニアで見た命の現実と、

私が目指す国際医療の道

学校法人大妻学院 大妻多摩中学高等学校

〔2年〕菅原 彩花

優秀賞

偉大なる父の背中

福岡県立福岡工業高等学校

〔2年〕高橋 エマ

読売新聞社賞

声を待ってくれる社会へ

学校法人信愛学園 浜松学芸高等学校

〔2年〕齋藤 彩雪

優良賞

記憶をつなぐ葉をつくりたい

宮崎県立宮崎西高等学校

〔1年〕清水 彩来

自閉症への理解を社会に広める一歩のその後

くひとりで背負いすぎない未来へ

学校法人浪商学園 大阪青凌高等学校

〔2年〕藤田 壮真

蔵と田んぼと学校と

兵庫県立農業高等学校

〔3年〕鷺野 咲和

危険な農業を根絶するために

宮城県農業高等学校

〔3年〕鈴木 傑心

未来を築く医療の役割

学校法人上智学院 上智福岡中学高等学校

〔1年〕甲斐 圭将

実践知が拓く、次世代の国際課題解決

学校法人東京純心女子学園 東京純心女子高等学校

〔3年〕土屋 春帆

トマトの研究者への道を行動力で切り開く

鹿児島県立鶴丸高等学校

〔2年〕田島 遥

私たちと「核」

学校法人盈進学園 盈進高等学校

〔2年〕岡田 真緒

学びの光をすべての子どもに

学校法人早稲田大学 早稲田大学高等学院

〔1年〕鈴木 慶雅

山鹿産和栗と赤鶏の可能性に魅せられて

熊本県立熊本農業高等学校

〔3年〕朝倉 春菜

奨励賞

学校法人創価学園 創価高等学校

福岡県立福岡農業高等学校

福岡県立三池高等学校

福岡県立明善高等学校

学校法人信愛学園 浜松学芸高等学校

学校法人白百合学園 白百合学園高等学校

岩手県立大槌高等学校

学校法人調布学園 田園調布学園高等部

学校法人嘉悦学園 かえつ有明高等学校

独立行政法人国立高等専門学校機構 徳山工業高等専門学校

福岡県立福岡工業高等学校

〔3年〕松原 雄志

〔3年〕長尾 菜々花

〔2年〕村上 優芽

〔1年〕後藤 立道

〔2年〕伊藤 百花

〔3年〕堤 璃彩

〔2年〕佐々木 結麻

〔1年〕藤田 結衣

〔2年〕長坂 貴太郎

〔3年〕生田 美羽

〔2年〕前田 華凜

学校部門

グループ部門

最優秀賞

苗半作と種苗法が切り開く食の未来

兵庫県立農業高等学校

〔3年〕河野詩萌・松本瑛恋・古家花菜

〔2年〕大西聖菜・川上隼人

優秀賞

櫨から繋げる環境再生

福岡県立久留米筑水高等学校

〔3年〕手島翼・池田伊吹・井手和樹・久家柚祢
権藤瑠衣斗・立石悠人・中野翔一朗

読売新聞社賞

空洞化するまちなかを空き家の有効活用で

再生させるプラン 伊勢崎市を事例に

学校法人小林学園 本庄東高等学校

〔2年〕小林 奈奈

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校

〔3年〕小林 香穂

優秀学校賞

大要な熱意を持って継続的に参加された学校

〔福岡県〕福岡県立八女工業高等学校

〔東京都〕学校法人東亜学園高等学校

〔静岡県〕学校法人信愛学園 浜松学芸高等学校

学校賞

前回は引き続き全体的に継続的かつ積極的に取り組まれている学校。及び、新規挑戦された学校。

〔北海道〕北海道北広島高等学校

〔愛知県〕学校法人福山女学園福山女学園高等学校

〔大阪府〕学校法人浪商学園 大阪青凌高等学校

〔広島県〕広島県立広島高等学校・学校法人盈進学園 盈進高等学校

〔山口県〕独立行政法人国立高等専門学校機構 徳山工業高等専門学校

〔福岡県〕福岡県立伝習館高等学校・福岡県立ありあけ新世高等学校

〔福岡県〕福岡県立福岡工業高等学校・福岡県立三池高等学校・誠修高等学校

〔福岡県〕福岡県立久留米高等学校・福岡県立八女高等学校・北九州工業高等専門学校・福岡県立三池高等学校・福岡県立修猷館高等学校

〔長崎県〕長崎県立口加高等学校

〔大分県〕独立行政法人国立高等専門学校機構 大分工業高等専門学校

〔熊本県〕熊本県立熊本商業高等学校

〔鹿児島県〕鹿児島県立鶴丸高等学校

(敬称略・順不同)

受賞して思うこと

学校法人大妻学院

大妻多摩中学高等学校 2年

菅原 彩花 さん

この度は、「沖永荘一博士記念大賞」という栄誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。タンザニアでの経験で抱いた私の志が、このような形で評価されたことを大変うれしく思います。本作品は、タンザニアでの生活の中で感じた疑問や関心を出発点に、試行錯誤を重ねながら完成させたものです。

論文執筆にあたっては、共に学ぶ仲間や先生方、挑戦を温かく見守ってくれた家族など、多くの支えがありました。特に小玉先生には、構成や視点について多くの助言をいただき、心より感謝申し上げます。現在は医師になるという目標に向けて努力しています。今回の受賞を励みに、今後も自分の関心や大切にしながら学びを深めていきたいと考えています。

終わりに、本コンクールに関わってくださいましたすべての皆様に深く感謝申し上げますとともに、貴財団の今後ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

福岡県立八女工業高等学校

校長 堤 雅樹

この度は「優秀学校賞」受賞の栄誉を賜り、身に余る光栄であり、深甚な

る感慨を覚えております。本校生徒が日常の学びを礎に、社会への洞察を深め、自らの考えを真摯に言葉として紡いできた歩みを評価いただきましたことは、この上ない喜びであります。工業教育を根幹に据えつつ、思考力・判断力・表現力の涵養を重視してきた本校の教育実践が、確かな成果として進展しているものと受け止めております。この受賞を新たな契機として、生徒が主体的に学び、未来を切り拓く力を一層伸ばしていけるよう、今後も教育活動の充実に努めてまいります。

終わりに、関係各位に深甚なる感謝の意を表するとともに、貴財団の益々のご発展を祈念申し上げます。

学校法人

東亜学園高等学校

校長 矢野 隆

この度は「優秀学校賞」の栄誉を賜り、深く感謝申し上げます。

本校では、「自ら考え、行動できる人間を育てる」を教育目標として掲げ、具体的には、自らの未来を思い描き、その目標を成し遂げるためには何をすべきか、自ら課題を見つけて自ら解決すること、自己を創りあげていく力を育成しております。また、複雑化する現代社会の中で確固たる目標を持つためには、思いを文章にすることで思考を整理し、あるがままの自分と向き合いながら、自己を再発見することが大切であると考えております。

それ故、実際の文章作成の過程では、これからの日本を背負っていく子どもた

ちの純粋な志に胸を打たれる思いでした。今回の受賞を契機として、社会を生き抜き、社会に資する人材の育成に一層努めてまいります。

終わりに、ご関係の皆様深く感謝いたしますとともに、貴財団のますますのご発展を祈念申し上げます。

学校法人信愛学園

浜松学芸高等学校

校長 内藤 純一

2年連続の『優秀学校賞』の選出に、ただただ喜びと驚きの念を抱くばかりです。

本校では今年度も高2生全員が論理国語の夏期課題としてコンクールに参加しました。2年生は自分の将来について考えを深めていく時期でもあるため、「こそ大志を語れ」というテーマは、これまでの生活や今後の生き方を見つめる格好の課題として捉えています。

昨年度と同様に、小論文という形式での執筆が初めてという生徒も多く、書き始めの段階では腐心した様子も見られましたが、「大志」の意味にじつくりと向き合いながら、家族や友人たちとあれこれ話し合う活動を通して、自分を見つめ直す機会を得ることができたようです。出来ばえにはそれぞれに想いがあると思われませんが、各自の「大志」について、今の自分の力で精いっぱい表現する取り組みになったことでしょう。

結びに、生徒たちの成長に資する機会をいただきましたことに御礼申し上げますとともに貴財団をはじめ、関係各位の益々のご発展を心より祈念いたします。

審査にあたって



帝京大学文学部
日本文学学科教授
審査委員長

中沢 紀子

第27回高校生小論文コンクールでは、約9000名もの応募がありました。最終審査に残った個人、グループ部門のいずれの作品においても高校生のみずみずしい感性で「大志」が語られていました。

審査では論文構成能力、問題意識が明確であるか、さらに問題意識に対してどのように行動を移しているかが焦点になりました。個人部門では語彙選択が秀逸であった「タンザニアで見た命の現実と私が目指す国際医療の道」が沖永荘一博士記念大賞に、グループ部門では問題に真摯に向き合う高校生たちの姿が窺える「苗半作と種苗法が切り開く食の未来」が最優秀賞に選ばれました。

第27回は休言止めや誤字が目立つものなど、小論文の基本的な書き方が出来ていないものも目立ちました。小論文はインターネットのブログや詩とは違います。小論文を見直し、体裁を整えた上で提出してもらいたいと思います。

最後になりましたが、小論文コンクール開催にあたり、関係者の皆様より多大なご尽力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

令和7年度

第36回筑南ジュニア美術展

九州芸文館にて表彰式を行う

南筑後地区の園児・小・中学生までを対象とした筑南ジュニア美術展が開催された。応募総数7,746点の作品より審査の結果255点の作品が入賞した。10月11日(土)午前10時半より九州芸文館にて理事長賞受賞の32名の皆様の表彰式が行われ子どもたちに賞状や副賞などが授与された。

なお、入賞作品は、財団会館内ホールに展示していますので参観ください。

(入賞者一覧は財団通信95号で既に発表しています)



公開講座



前期6回、後期2回の講座を開催しています。帝京大学福岡医療技術学部の先生方より健康講座を開いて頂きました。

学習クラブ



おもなクラブは、グランドゴルフ、ちりめん布工芸、柳川さげもん等、実施しています。

学習講座 ゆめ夢クラブ



- ・英会話
 - ・美術教室
 - ・柳川まり
 - ・ヨガ
 - ・親子書道
 - ・写経等
- 実施しています。

※ 詳細は財団事務局へ